

CVPレポートデータベースのGUIクライアント

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

概要

このドキュメントでは、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)クライアントDbVisualizerを設定して使用し、Cisco Customer Voice Portal(CVP)レポートデータベースを参照する方法について説明します。

前提条件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CVP
- Informixデータベース
- Cisco CVPレポート

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアに基づいています。

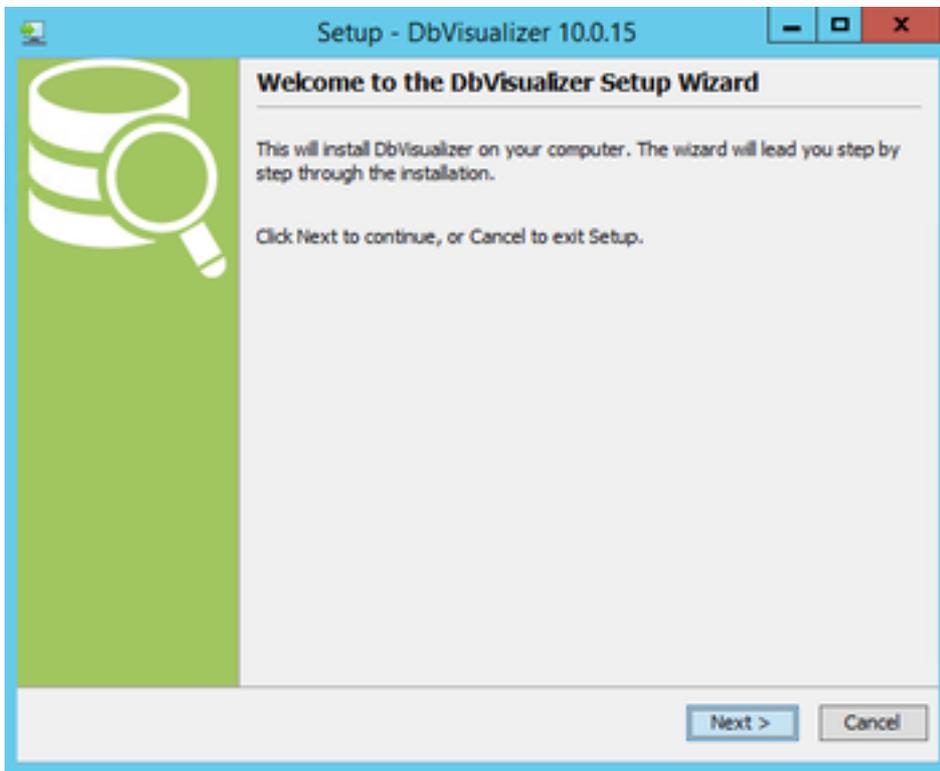
- DbVisualizer Free Client 10.0、ダウンロード[はこちら](#)、または
- Cisco CVP Reporting Server 11.6

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

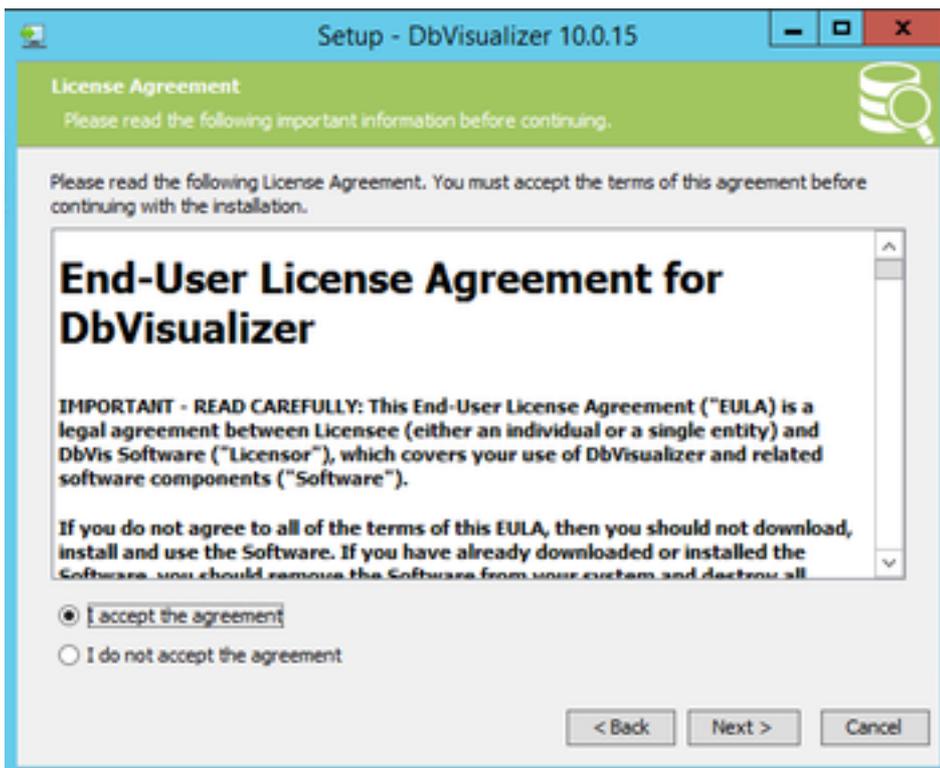
設定

DbVisualizer Clientをインストールして設定する手順は、次のとおりです。

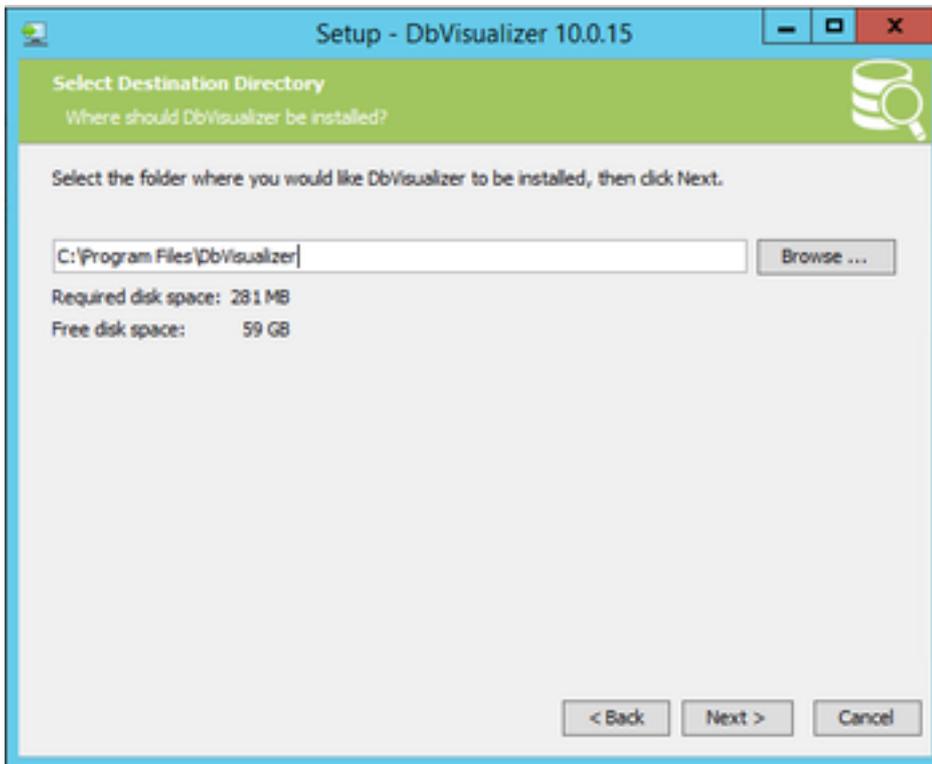
ステップ1:DbVisualizerクライアントをダウンロードしてインストールします。CVP Reportingサーバまたはリモートホストに直接インストールできます。



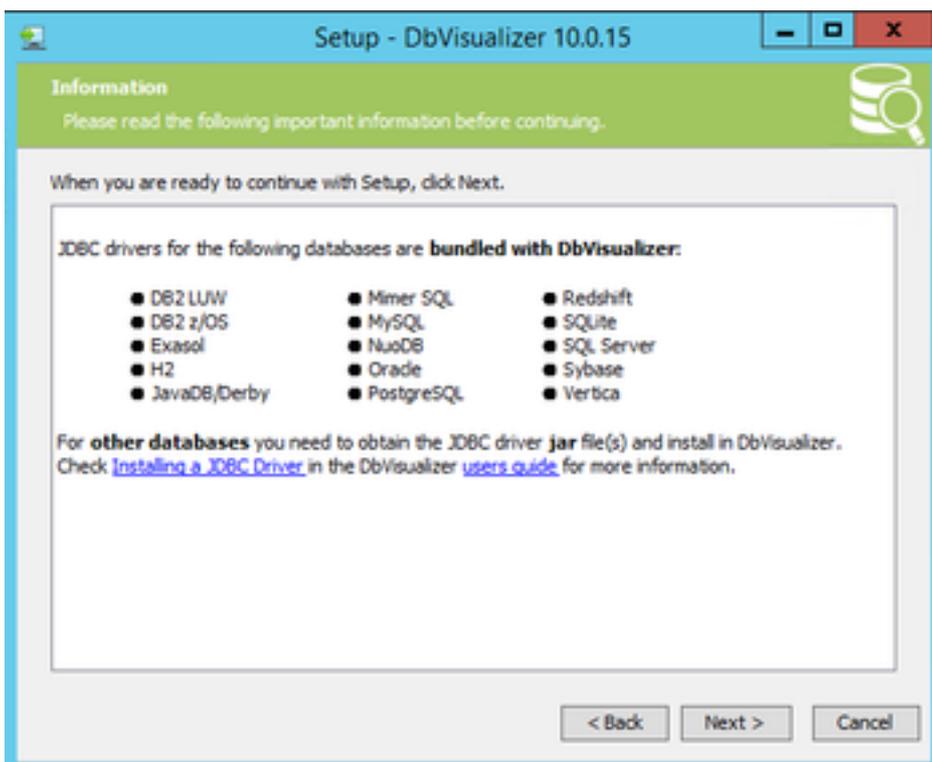
ライセンス契約に同意します。

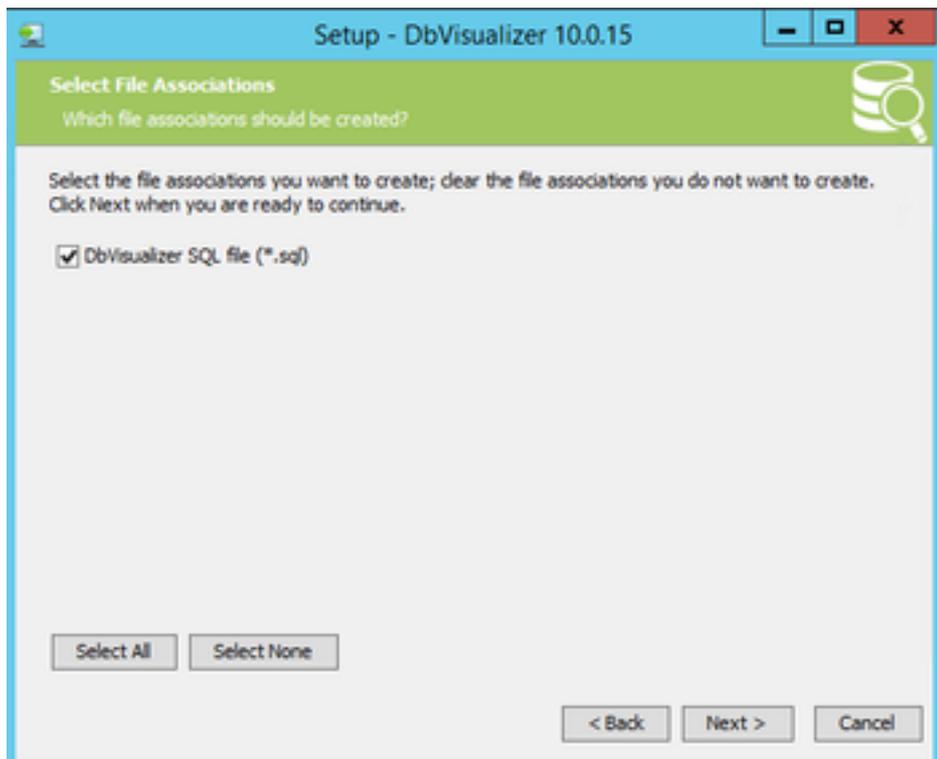
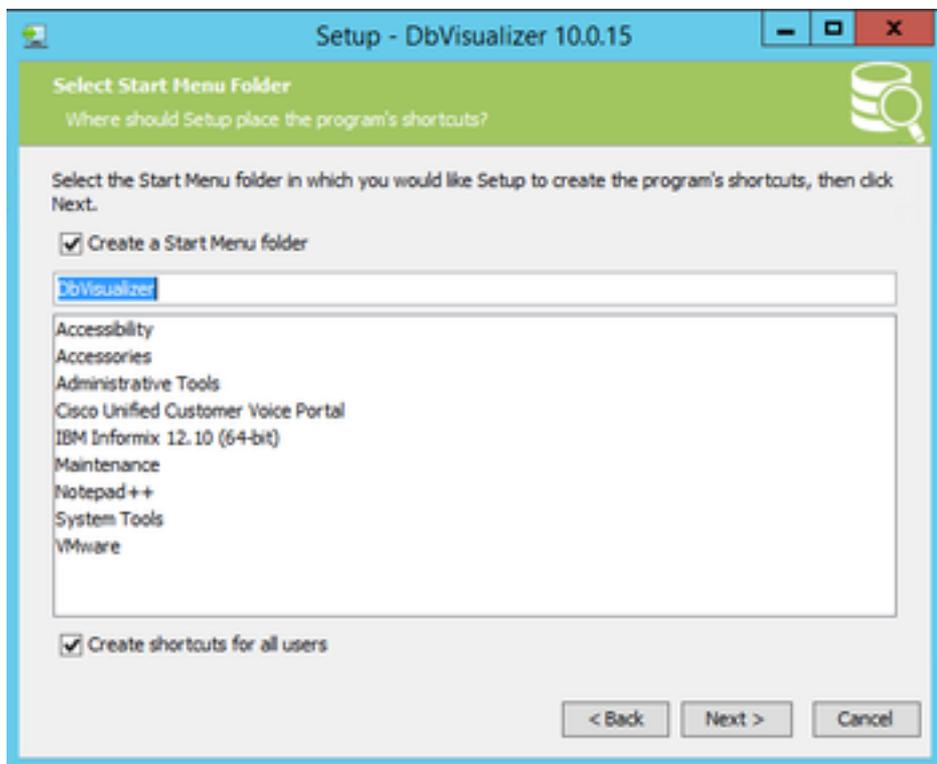


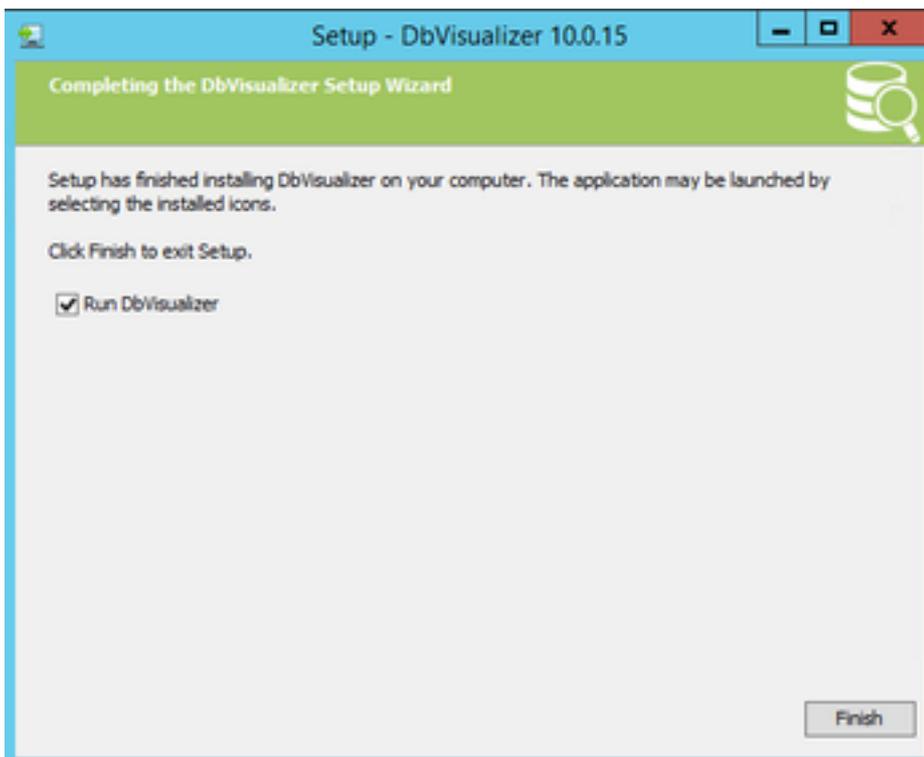
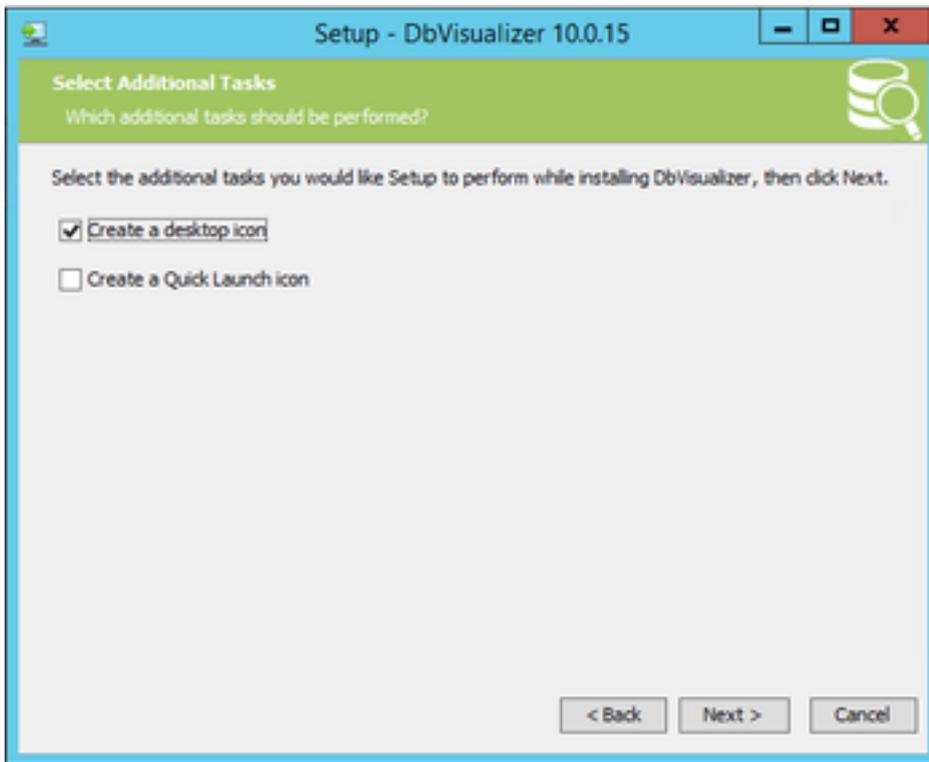
インストールの場所を指定します。



デフォルトでサポートされているデータベースのリスト。Informix DBがリストにはないのですが、後で正しいJDBCドライバをインポートできます。

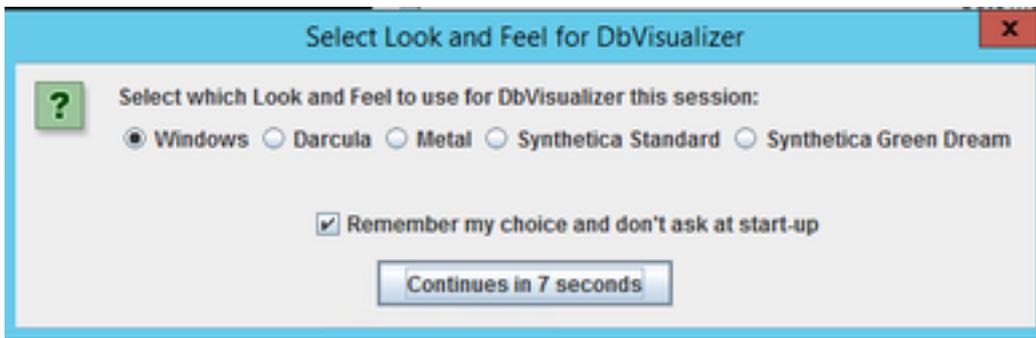




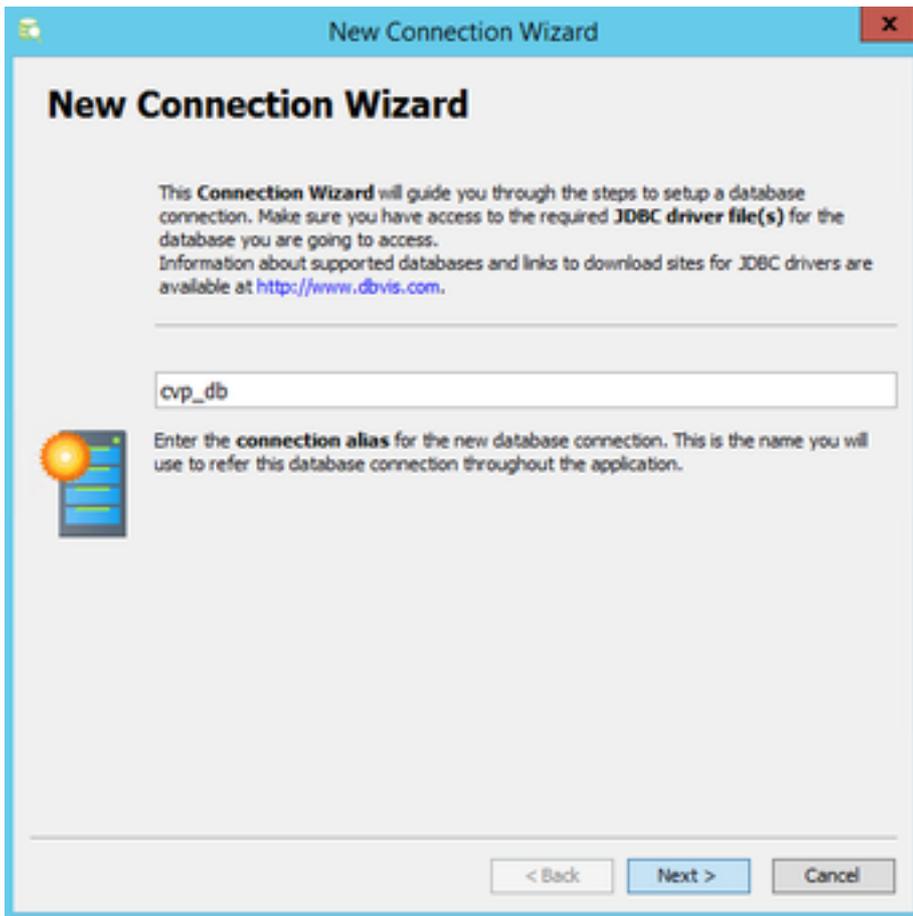


ステップ2:CVP Informixデータベースへの新しい接続を作成します。

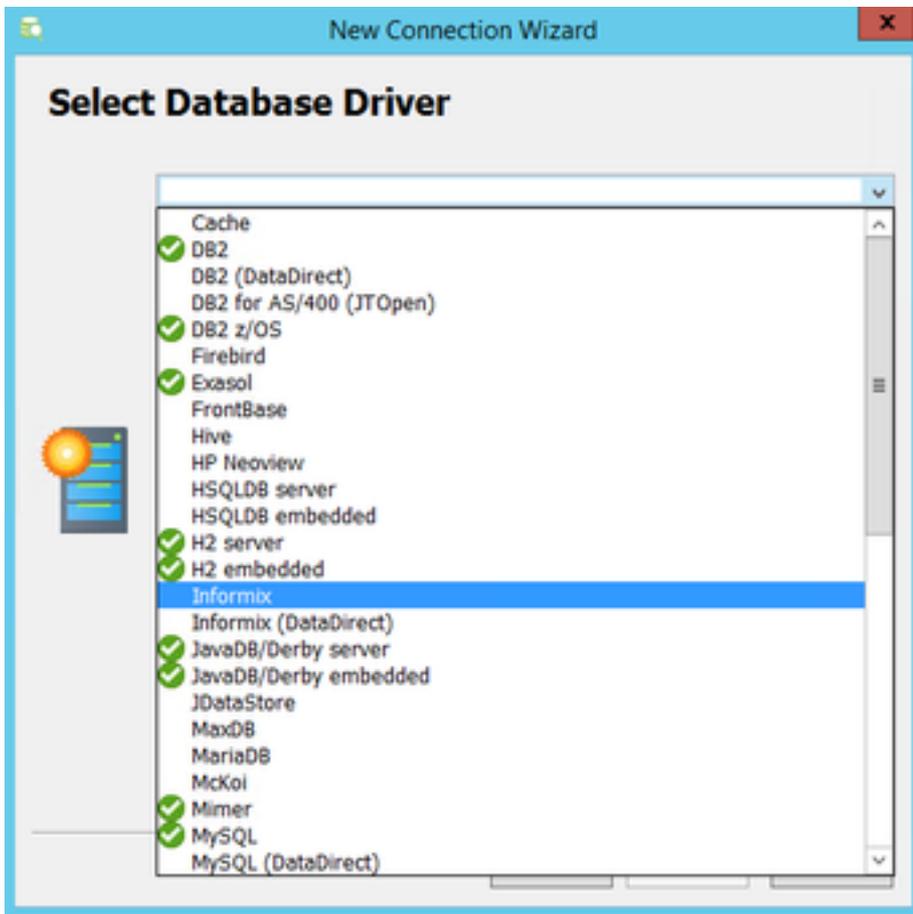
DbVisualizerを初めて開く場合は、事前に作成されたスキンを要求します。チェック起動時に自分の選択を覚えておいてください



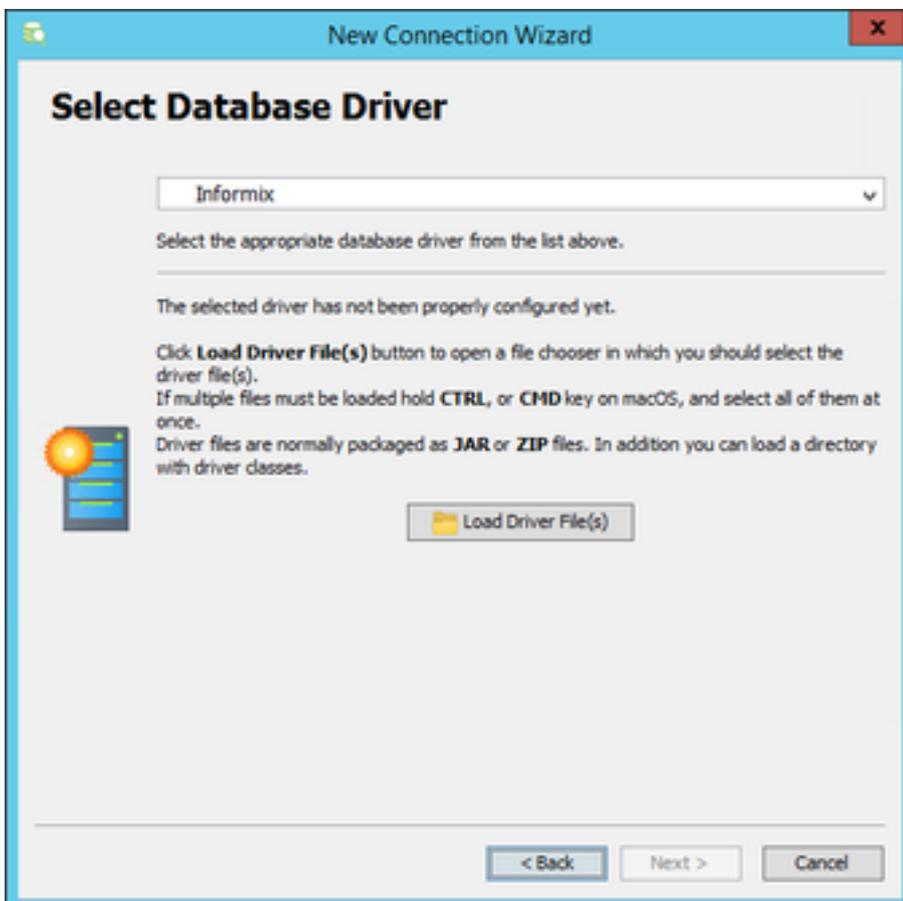
新しい接続ウィザードウィンドウが表示されます。接続の名前を指定します。



リストから[Informix database]を選択します。

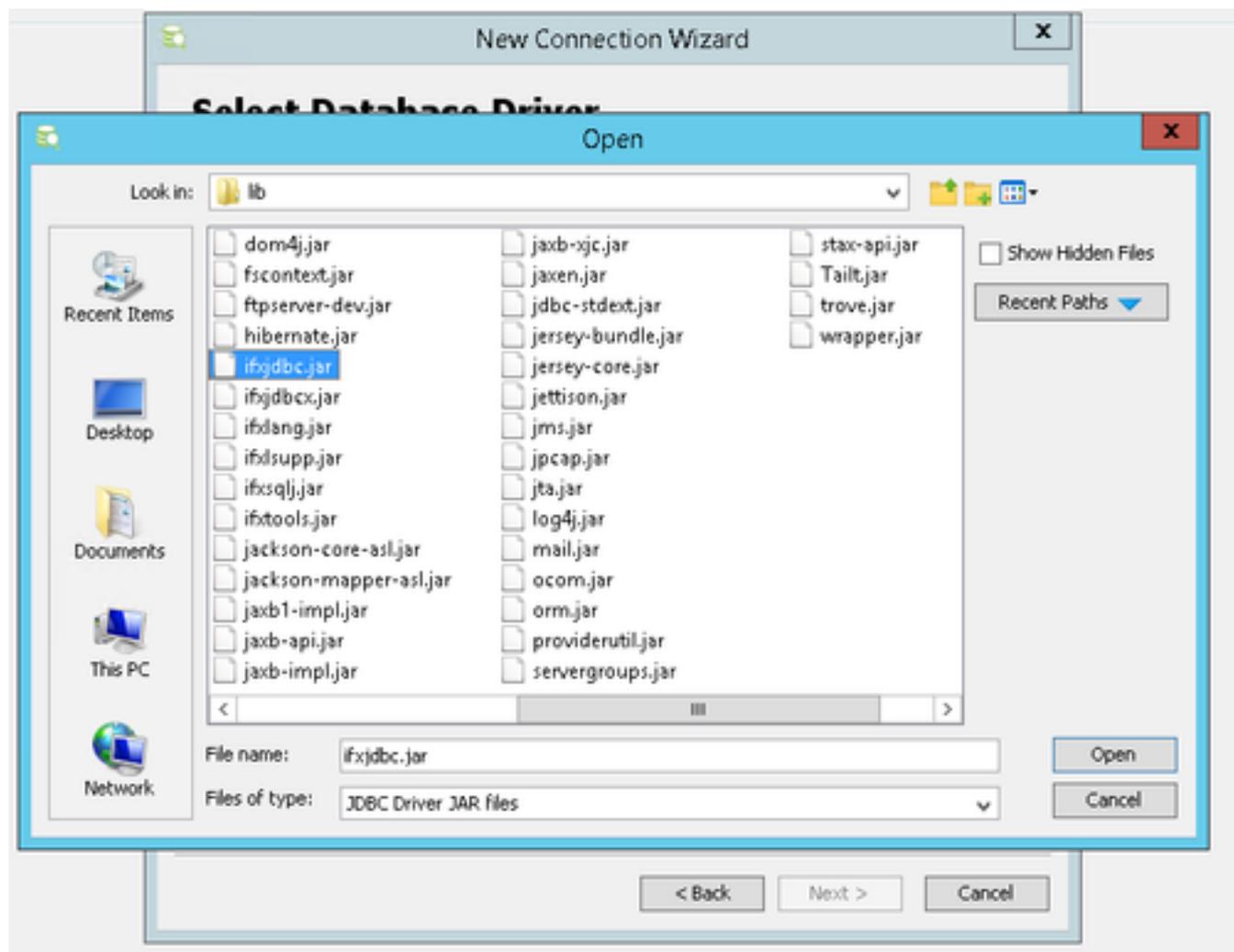


Informixデータベースの場合は、ドライバファイルを指定する必要があります。ドライバファイルの読み込み

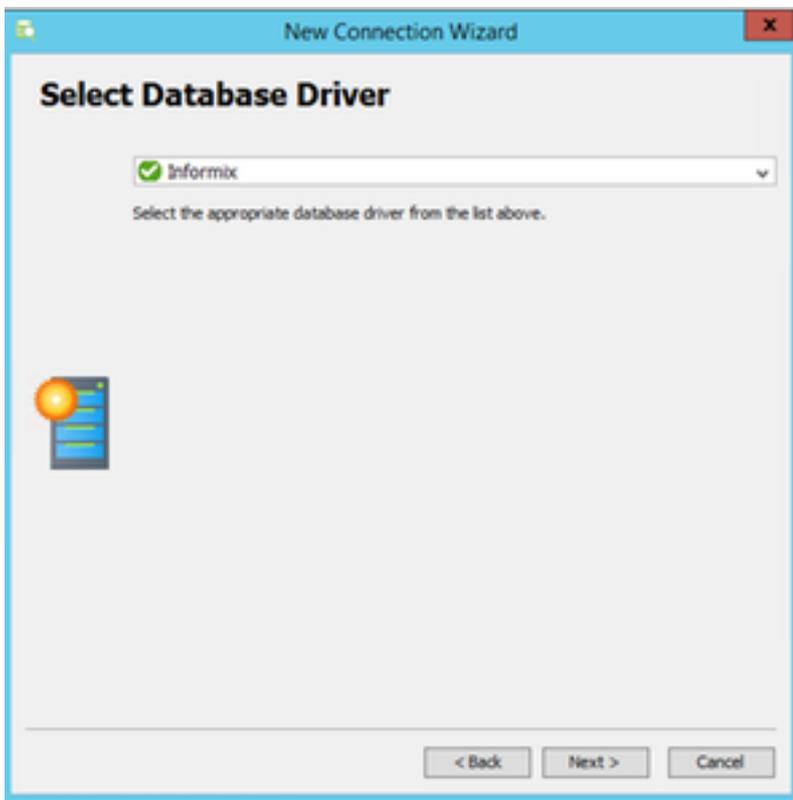


C:\Cisco\CVP\libからifxjdbc.jarファイルを見つけます(DbVisualizer ClientがCVPレポートサーバに

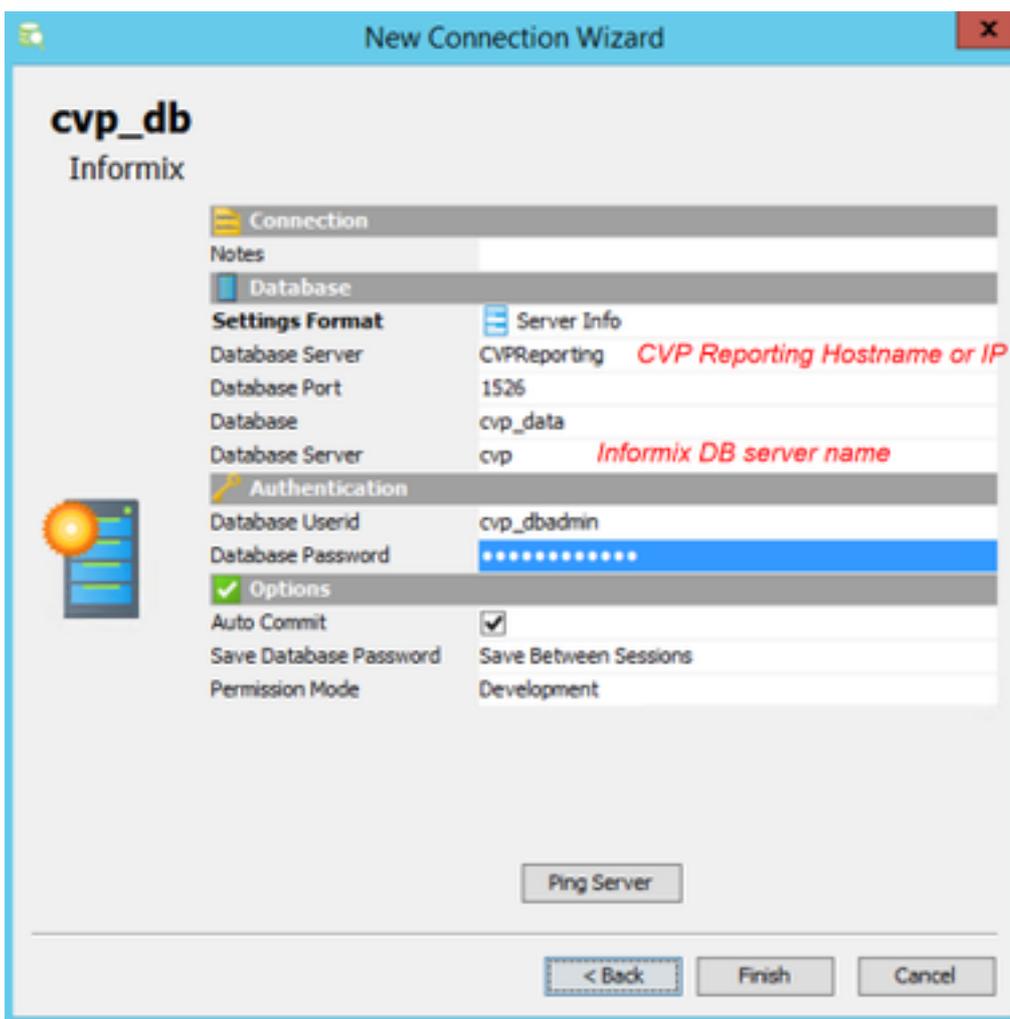
直接インストールされている場合)。それ以外の場合は、CVPLレポートサーバからドライバファイルをコピーします。



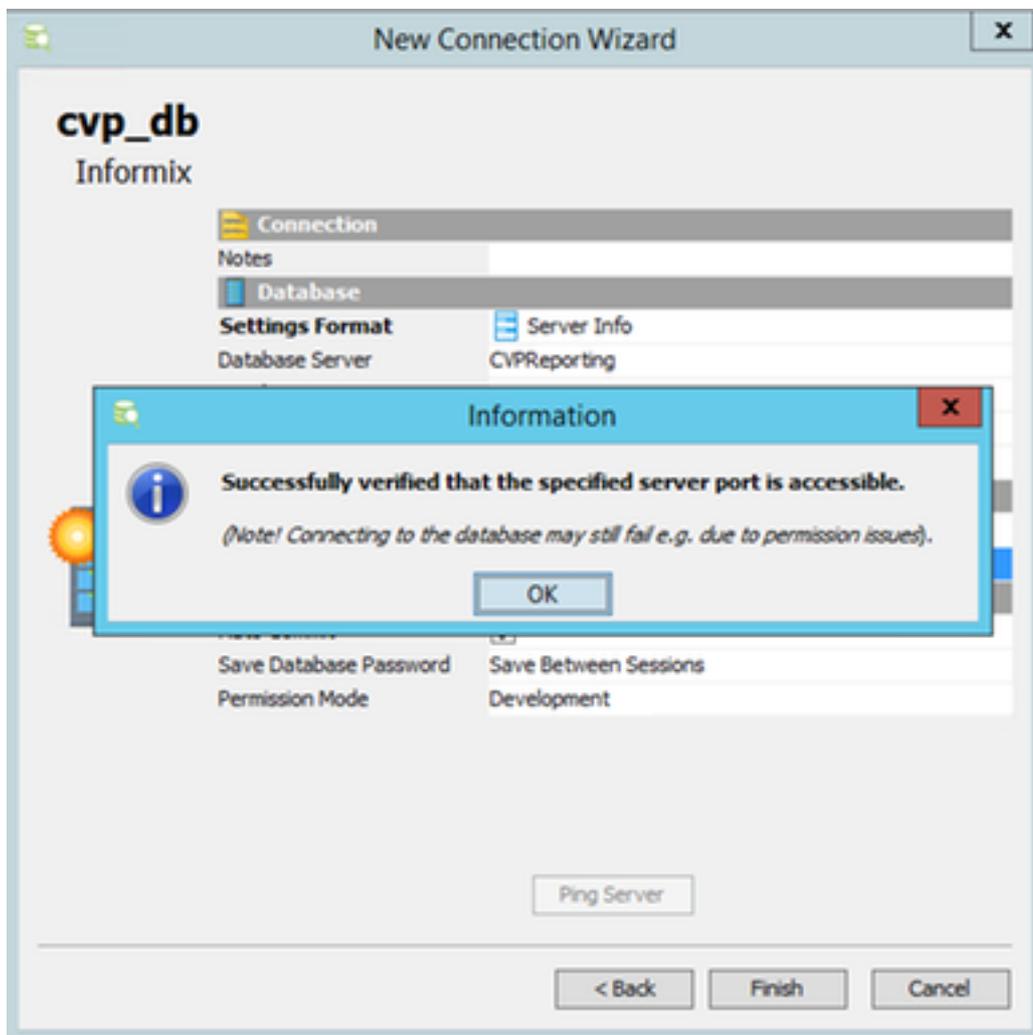
ドライバファイルが正常にアップロードされました。[次へ (Next)] を選択します。



データベースサーバーの詳細を提供します



[Ping Server]を選択し、pingが正常に実行されていることを確認します。次に、[完了]を選択します。



データベースを調べ、Structured Query Language(SQL)クエリを実行することができます。

